

キウイフルーツ雄品種の特性

調査品種と特徴

品種名	種名	倍数性
スパークラー	<i>A.chinensis</i>	2倍体
CK4	<i>A.chinensis</i>	2倍体
M91	<i>A.chinensis</i>	4倍体
孫悟空	<i>A.chinensis</i>	4倍体
さぬき花粉力	<i>A.chinensis</i>	4倍体
M 1	<i>A.deliciosa</i>	6倍体
中華弥猴桃	<i>A.deliciosa</i>	6倍体
マツア	<i>A.deliciosa</i>	6倍体
トムリ	<i>A.deliciosa</i>	6倍体
M 2	<i>A.deliciosa</i>	6倍体



A.chinensis 2倍体

花は多いが小さい。
花粉の採取量は少ない。
受粉樹として利用する。



A.chinensis 4倍体

花は中程度の大きさ。
花粉の採取効率は2倍体より
よいが採取量は少ない。
受粉樹として利用する。



A.deliciosa 6倍体

花は大きく、集めやすい。
花粉の採取量が多く、花粉
採取用途に適する。

開花日と花粉収量の比較(2016年)

品種名	花粉採取期間	4月下旬	5月上旬	5月中旬	5月下旬
スパークラー	4/25~5/2	■	■		
CK4	4/26~5/5	■	■		
M91	5/6~5/18		■	■	
孫悟空	5/6~5/18		■	■	
さぬき花粉力	5/9~5/18			■	
M 1	5/12~5/20			■	
中華弥猴桃	5/15~5/23			■	■
マツア	5/16~5/24			■	■
トムリ	5/12~5/28			■	■
M 2	5/14~5/28			■	■

注1) トムリは雨よけ栽培のため開花期が前進化している。
注2) 青色は開花期間、黄色は満開日を示している。

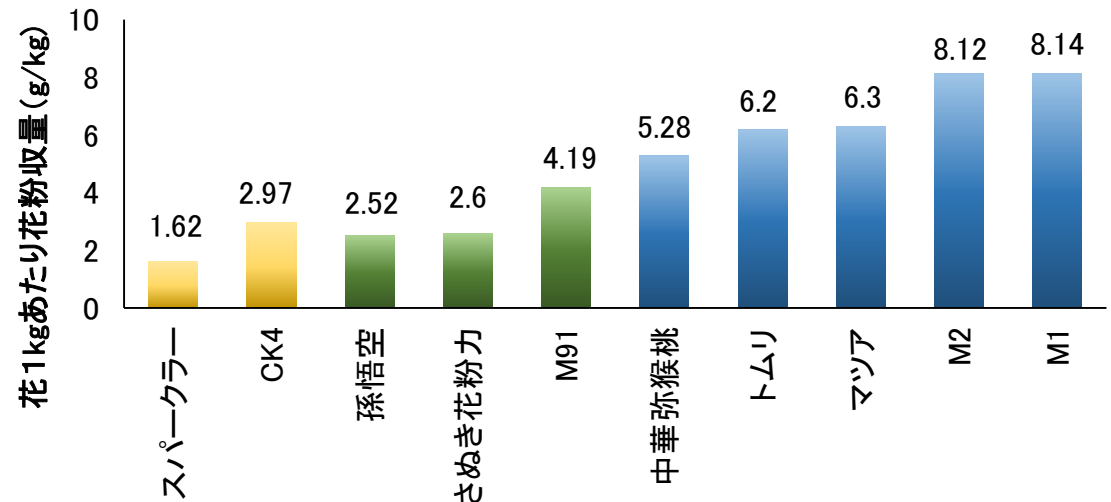


図 花1kgから採取できる花粉量の比較